

地理も歴史も統計も 日本

執筆 浜学園 駿台・浜学園 社会科 イラスト 佐竹政紀

日本各地をめくり、地理や歴史の特色を解説します。今回は九州地方の1回目。入試でよく出る統計データも読み解きます。

九州 北部は米、南部は畑作や畜産

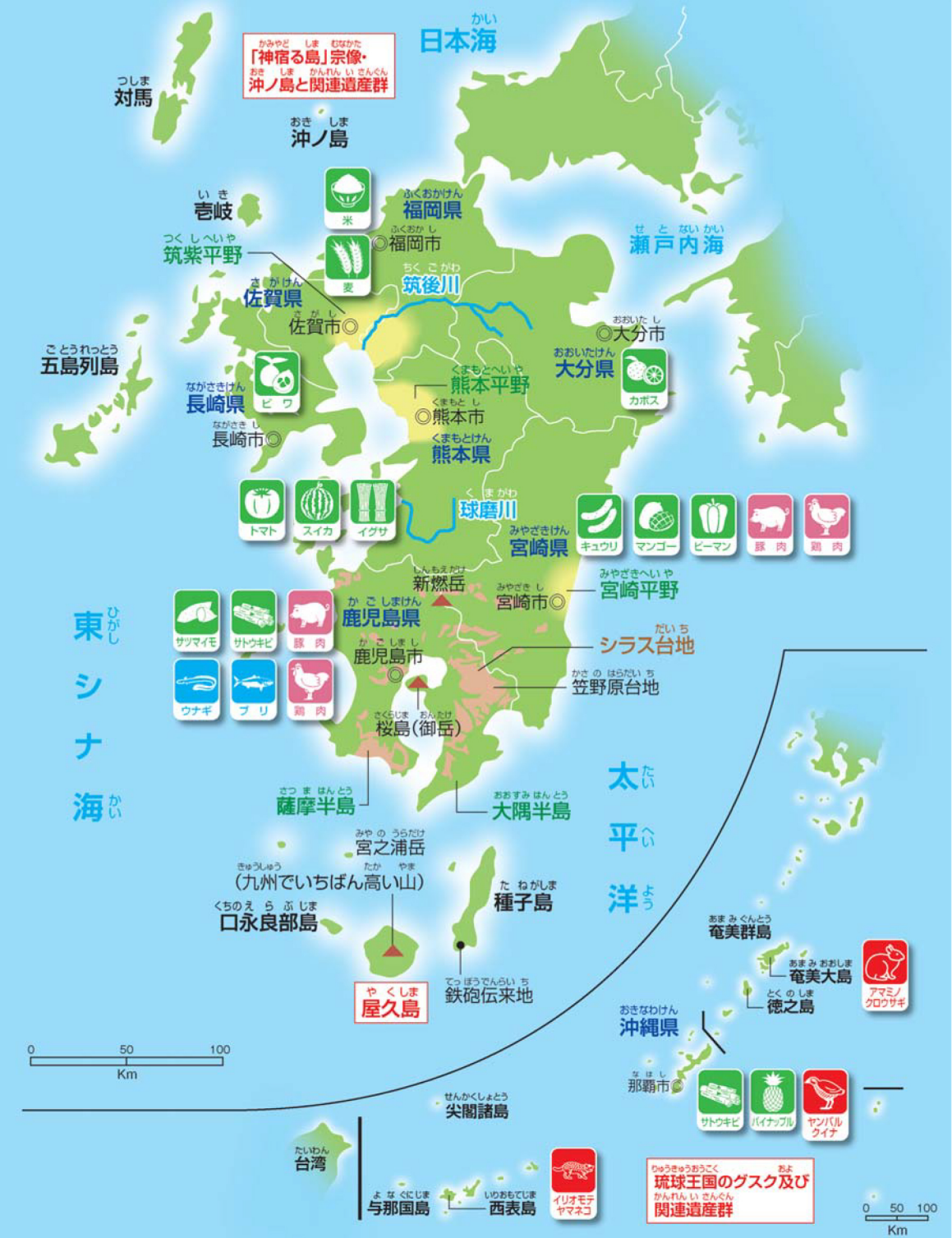
九州地方は日本の南西部に位置します。まわりを海に囲まれ、北西は日本海、北東は瀬戸内海、南西は東シナ海、南東は太平洋。東シナ海には日本の西の端である与那国島(沖縄県)があります。

農業の特徴のひとつとして、北部と南部で生産されるものが大きく異なることが挙げられます。福岡県や佐賀県に広がる筑紫平野は九州一の米どころ。米の収穫が終わると小麦や大麦なども育てます。同じ土地で1年に2種類の作物をつくることを「二毛作」といいます。

熊本県はイグサ(たみ表の原料)やトマト、スイカの収穫量や生産量が全国1位。宮崎県は温暖な気候を生かした促成栽培(早づくり)が有名で、キュウリが1位、ピーマンが2位です。

九州南部には、火山活動で出た火山灰などが積み重なってできた土地が広がります。「シラス台地」といいます。水もちが悪く、稲作に向いていないので農業では畑作や畜産が中心。鹿児島県のサツマイモ(1位)が代表的です。

畜産では豚(鹿児島県が1位、宮崎県が2位)や肉用若鶏(宮崎県が1位、鹿児島県2位)が主力。鹿児島県はウナギやブリの養殖も1位です。沖縄県は亜熱帯の気候を利用してランやキクなどの花を育て、大都市に出荷しています。黒砂糖の原料になるサトウキビは沖縄県(1位)と鹿児島県(2位)で全国の9割以上。パイナップルの生産は沖縄県がほぼすべてをしめ、マンゴーは沖縄県が1位、宮崎県が2位です。



豊かな自然、世界遺産に
ユネスコ(国連教育科学文化機関)の世界自然遺産に登録されている屋久島(鹿児島県)。樹齢が数千年ともいわれる縄文杉に代表される巨木の森があります。海岸から標高約2千メートルの山の頂上まで高さによって気温が変化し、亜熱帯から亜寒帯までの気候が垂直方向に分布。それぞれの気候におおじて生育する植物もみられます。

この夏に世界自然遺産への登録をめざしているのが「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」(鹿児島県、沖縄県)です。ヤンバルクイナやアマミノクロウサギといった固有種が生息するなど、貴重な生物多様性が保たれています。



皇里城の正殿 ©朝日新聞社

歴史的にみると、九州はいまの中国などの結びつきが深い地域といえます。江戸時代に志賀島(福岡県)で発見された金印には「漢委奴国王」と刻まれています。中国の歴史書によると、福岡にあったとされる国の王が使いを送り、中国の皇帝から金印を授けられたとされています。

また、周囲にほりめぐらした環壕集落で有名な吉野ヶ里遺跡(佐賀県)は弥生時代を知るうえで欠かせない重要な遺跡です。

ました。志賀島でみつかった金印のことではないかとされています。

「神宿る島」宗像(沖ノ島)と関連遺産群(福岡県)として、ユネスコの世界文化遺産に登録されている沖ノ島では4世紀後半から500年あまりの間、朝鮮半島や中国大陸への航海の安全などを願う国家的な祭祀がおこなわれました。

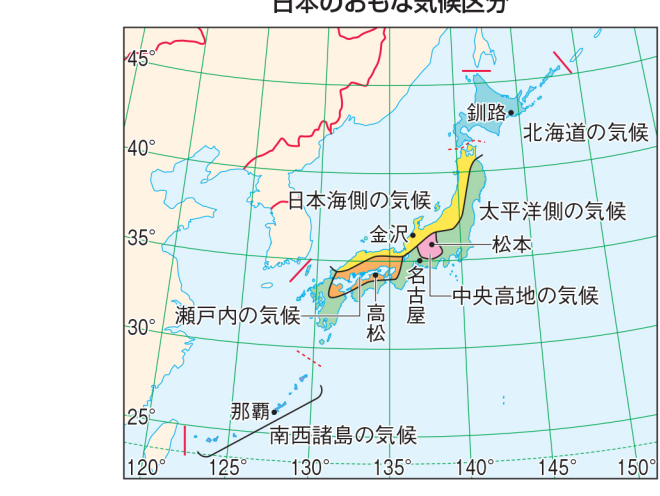
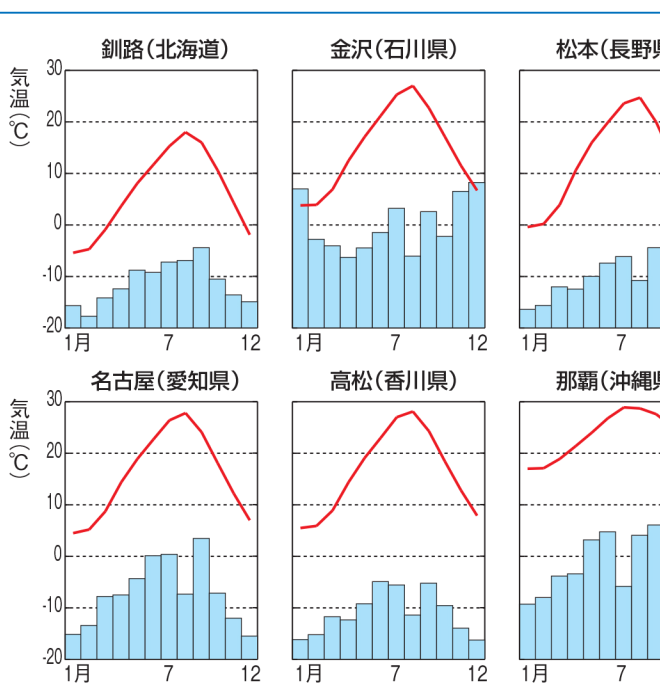
のときに鉄砲が伝わりました。1549年に宣教師のザビエルが鹿児島に来たのをきっかけに、キリスト教も各地に広まりました。沖縄では15世紀、尚氏が三つの王国を統一し、琉球王国が成立。明(いまの中国)などにしたが一方、東アジア諸国との中継貿易で栄えました。琉球王国時代の城(グスク)などの遺跡は「琉球王国のグスク及び関連遺産群」として世界文化遺産に登録。復元された首里城の正殿をみると、中国の影響を受けていることが実感できます。

統計 日本の気候は亜寒帯、温帯、亜熱帯

日本には大きく三つの気候(帯)があります。夏が短めですずしく、冬は長く寒さの厳しい亜寒帯(冷帯)、比較的温暖な温帯、年間を通して気温が高く、冬でも温暖な亜熱帯。亜寒帯は北海道、温帯は本州など、亜熱帯は沖縄をふくむ南西諸島に分布し、さらに温帯は日本海側、太平洋側、中央高地、瀬戸内などにわけられます。

雨温図の折れ線グラフは気温を表示。夏と冬の温度差が大きいのが中央高地、年間を通して高いのが南西諸島などと区別します。棒グラフは降水量を表します。梅雨の時期がほとんどなく、6月の降水量が少ないのが北海道。冬に雪が降り、11~1月の降水量が多くなるのが日本海側、年間を通して少雨なのが中央高地です。

夏の雨が多く、冬は雨が少なく乾燥するのが太平洋側。6~9月は台風により紀伊半島南部や四国南部で降水量が多くなります。年間を通して雨が少なく、夏に水不足になりがちなのが瀬戸内、降水量が多めなのが南西諸島です。



来週は「世界史 人物DE伝」です。

第3回 朝日小学生新聞 スクラップ学習コンクール 作品募集

2018年9月1日(土)~10月2日(火)

7月24日(月) 朝日小学生新聞 7月17日

発電も考えよう安全を!

さあ「黒潮発電」実験だ

Q再生可能エネルギーとは?
A自然から作る電気!

風力発電 太陽光発電
水力発電 風力利用
バイオマス発電 木や草の力を利用

よりの未来のために!

再生可能エネルギーがあまり活用されていない事を知りました。安全して発電できる海流発電。実験が成功して活用されるのが楽しみです。原子力発電に変わり、今後再生可能エネルギーがもっと活用されることを願っています。

つくりかた

- 1 気に入った記事を切り抜いてノートなどにはろう。日付と新聞名は忘れずに書こう!
- 2 記事の要約や意見・感想、選んだ理由などを書こう!
- 3 わからないことやもっと調べたいことを見つけて、積極的に調べよう!
- 4 テーマや見学、体験、インタビュー、イラストなどのくふうで、読みやすくまとめよう!

応募資格 小学生

使用新聞 主に朝日小学生新聞を使用する。ほかの新聞も一部使用可。スクラップ期間は原則7日以上。

作品形態 スクラップ帳、ノート、スケッチブックなど。作品には「応募票」をはってください。2018年に制作した個人作品とします。(グループ作品不可)

賞 朝日小学生新聞賞(低学年の部・中学年の部・高学年の部)、全国新聞教育研究協議会賞(低学年の部・中学年の部・高学年の部)、朝日新聞社賞(低学年の部・中学年の部・高学年の部)、優秀賞、学校賞

作品受付 2018年9月1日(土)~10月2日(火) 消印有効

送先 〒354-0045 埼玉県入間郡三芳町上富1141-10 朝小スクラップ学習コンクール係 TEL:049-293-3668

入賞発表 2018年12月上旬。朝日小学生新聞紙上、およびウェブサイト「ジュニア朝日」で発表。

お問い合わせ先 朝日小学生新聞社 広報・教育メセナ部 朝小スクラップ学習コンクール係 TEL:03-3545-5223 FAX:03-3545-0978 [受付時間 10:00~17:00、土日祝日除く]

※応募作品は原則として返却しません。返却希望の場合は着払いでお返しします(ご返却エリアで着払い料金は異なりますが1,000円以上かかります)。

※団体応募の場合は、応募作品全てを一括返却します。

※入賞作品の学校名、学年、名前は新聞、ウェブサイトなどで紹介します。

※応募者の個人情報は、当コンクールの目的のみに利用させていただきます。

※ジュニア朝日(http://www.asagaku.com/scrap/index.html)でスクラップの作成方法を紹介します。

主催/朝日小学生新聞 後援/朝日新聞社・全国新聞教育研究協議会

第2回 朝日新聞社賞 中学年の部 小仲花さん(東京4年)の作品